



巴波川

に二階の扉を叩き、天雨大神の大きなお形を掲示してあって、やつぱり流し、流した。一緒に行った山口さんが二階からも映像が見えるということで一階から見えた。

四、とちぎ風の御美神燈

その後、その横にある「とちぎ風の御美神燈」に行ったら、この美神燈は「お助け風」といわれた巻面の蔵(二連)を見せるのと、企業展をする所でヨロロツバガラス巻面展をしていた。これも毎科になつていった。

五、巴波川散策

その裏口から川に向かうと、

実員御さんが軒を連ねていた。そこから、川沿いの道に入り、陋水に案内があったところの建物などのあたりを散策し、軒先場に戻った。

六、大本山

まず、山本有(三)河を渡り、見つけて記念碑とその周りを見た。そこは、惜まらずと言われれば野を見下ろす位置であり、多くの人が花見や団子を食べに来る場所だ、知らずに来る人も結構が見られる。そこで、三河団子を食べた。

その後、下まで下りて「雲間花坂」を少し歩いてみたが、また早歩きで花も人もまばらであつた。

野間記念碑建設推進
プロジェクトの模様

野間清治記念館建設区

前回五月の会談で野間記念館の調査が欲しいと言ったことが出て、山口さんが写真、場所や建物の概要図を書いて出してくれました。このようなものが必要だ書いていただけでありがたいこととです。皆さんに見ていただくことを優先資料として出すことにさせていたいただきました。

生誕の碑建立記念
事業開催

今年度は、「地域活性化推進事業補助」を野間財団に申請し、申請が認められれば次の事業を実施する予定。多くの方々に参加していただきながら「野間清治顕彰会」の一体の輪廓を固りたいと考えています。先に建立した記念館の前庭に建立した銅製碑の碑文にある「志あるところ道自生ず」これを追及すること良かれな道はちかきにある」

この言葉を常に心の隅において日々歩みたいですね！顕彰会は数々の事業を通して、親生から文化を発信していきたいと考えています。

献花式・生誕碑建立記念事業

野間清治は昭和13年66歳でこの世を去りました。5年前銅製碑を建立して以来、国庫前庭にて、命日に当たる10月16日にその偉業を讃賞し、顕彰活動を促すため、献花式と野間コンサートを実施。

今年に加えて生誕碑建立記念事業を親生を好きな方々が生誕の碑の前での懇話会を開催し、また銅製碑の奉納事業として、野間清治の誕生日の楽しいイベントを計画します。

野間文庫読書推進賞

野間文庫読書推進賞は、顕彰会の事業や野間清治の功徳を讃えるべく平成13年に創設され、顕彰社からの依頼の読書も楽しみです。これまで多くの方々にご覧いただきました。本年は、読書推進賞は生誕の碑建立を記念して読書賞の枠を

拡大してより広く多くの読者・個人に贈呈する予定です。

文化講演会・歴史講座等

文化講演会は、講師御子さんを予定、11月31日シルクホール。多くの皆さんの参加をお待ちしています。文化協会・文化会館・読書会等協賛会との共同で行うものと「顕彰会単体の講演」などがあります。現在、新しい講師は講師選定と日程の調整をしています。これまで顕彰会は、瀬戸内海部・向陽亭附・渡辺野一・北方謙三・渡辺次郎・高戸見子・内山節名氏を講師としてお話し講演会を開催してきました。今年も、生誕の碑建立記念特別講演も大いに期待ください。

懐かしい絵本原画展

「顕彰社が所蔵した懐かしい絵本の原画展」平成18年1月に開催予定で準備しています。ご期待下さい！ 顕彰会は、顕彰社と野間記念館との協力を得ての開催です。現時点でできるクオリティのいい展示となります。これまでに「少年作家部・顕彰社の絵本展・野間清治顕彰社の絵本展・野間清治コレクション展を開催いたしました。

視察研修旅行

「視察研修旅行文化の発展を導いて」と題して、11月6日(日)日曜日の東京散策です。ご期待下さい！ これまでに実施した、視察研修旅行は「東京をめぐりと顕彰社を訪ねて」「みちのく岩手の文化と自然探訪」「野間記念館見学と東京水上遊覧」「都の文化を訪ねて、奈良から京都へ」「富士山麓にみる歴史と文化・古墳の森」「顕彰社奥山宮さんを導いて」など実施しました。